

断熱【省エネ・リフォーム】☆ノーパッシブ・ハウスに改修しましょう!



自然光はそのまま使う+南面開放+北側を閉じる+断熱★【パッシブ・ハウスの基本】はこれだけです。

- ★冬の【日射】を、高気密な南面の大きな窓・高窓・天窓から取り込みます。
- ★太陽熱は【蓄熱する床】(針葉樹の床・大谷石の土間等)に【ダイレクトゲイン】で暖気をとります。
- ★床の蓄熱は【輻射熱】を利用し、夜間まで持ち越します。
- ★補助暖房としてまた、自然な暖房効果を得る方法を【パッシブソーラー】といいます。

パッシブ・ハウスの窓の施工 & 断熱の施工

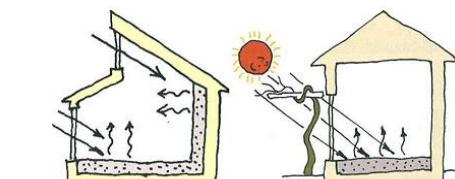


* 壁：セルロースファイバーを吹込みます。

* 屋根下・床下・基礎：ポリスチレン・炭化コルクで断熱します。



* 床：暖かく蓄熱する自然素材(木・土・石)を活用します。



窓から集熱 ⇒ 床に蓄熱

暖かく蓄熱する自然素材を活用します。床からの輻射熱で暖める方法です。



Before



大きな窓に交換



After

* エコガラス…通常のペアガラス+遮熱層がある熱損失の少ないガラス窓です。



【パッシブ・ハウスに改修しよう】

ヨーロッパの省エネ建築【パッシブハウス】に対して、日本では【Casbee】という基準(法律ではない)が出来ました。現在、約35万戸の一部の新築に活用され最新の省エネ建築も登場しています。しかし、今の住宅を取り壊し建て替えれば、多大なエネルギーとゴミを残し環境負荷をかけることになります。では、もうすでに建ってしまっている既存住宅1500万戸はどうすればよいのでしょうか？ 私たちは目の前にある住宅を【長く大切に使い続ける】ことをおすすめいたします。【Casbee】の性能は改修でも可能だからです。また、大きな装置で複雑なエネルギー変換を図る【省エネ装置】よりもなるべくそのままの形の【自然エネルギー】を使う【パッシブな改修】を私たちはお勧めしています。皆さまの大切な住宅が【良質な恒久住宅】となるように、また改修を通じ、住宅の環境負荷低減、省エネルギー化となるようこれからも心がけてまいります。 株式会社アップル 代表取締役 大竹清彦



Reform Apple
ロハス&エコリフォームアップル
建築士事務所登録 栃木県知事(3)第4088番 建設業許可 栃木県知事(松)第22168号

無資格・無免許の玉石混交なリフォーム会社や
訪販リフォーム会社には十分ご注意ください！！



■リフォームアップル自治医大店 ■アップル建築設計事務所

〒329-0434 栃木県下野市祇園1-20-1 ☎0285-44-8208 (fax共通)

お問合せ:料金無料のフリーダイヤルで ☎0120-393-897